

平成27年度専門家派遣事例

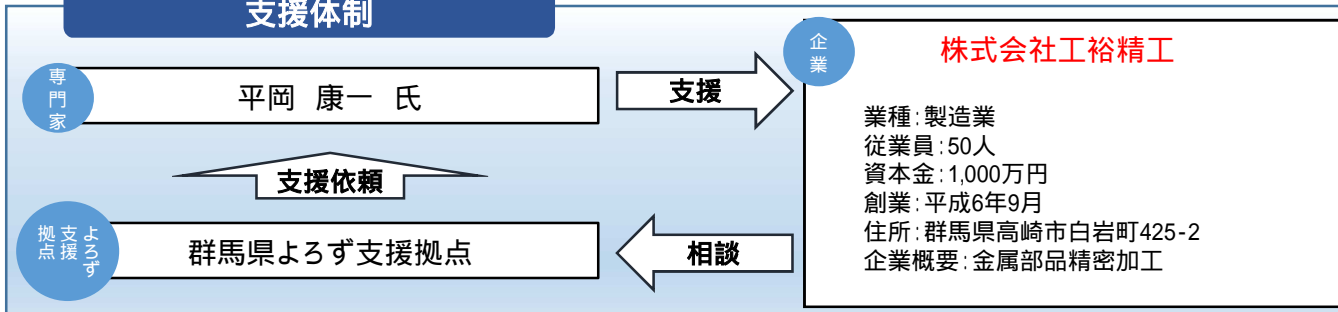
支援課題：ものづくり

平成28年3月

目次

| 都道府県 | 支援元機関名 | | ページ |
|------|---|-----------------------------|-----|
| | 企業名 | 支援テーマ | |
| 群馬県 | 群馬県よろず支援拠点 | | 1 |
| | 株式会社工裕精工 | 航空機産業分野の品質規格保証認証・取得に向けた支援 | |
| 大阪府 | 大阪府商工会・中央会・大阪弁護士会中小企業支援プラットフォーム / 大阪府商工会連合会 | | 2 |
| | 株式会社 ミサキ | 開発した特殊ねじ接続方式のストレナー管の生産体制の支援 | |

支援体制



支援概要

支援の経緯

本企業は、航空機部品、精密機械部品、医療体育器械部品、ベアリング部品等の金属部品の精密加工を得意としている。2006年から脱自動車産業を掲げ、現在は航空機分野が取引先の50%を占めている。今後航空機分野の業務拡大に伴い、取引先から航空機分野の品質保証規格「JIS Q 9100」の取得要求を受けることが予想されることから、その取得準備について当拠点に相談があった。

派遣元機関による経営課題の特定とアプローチ

本企業は、品質保証の取り組みで10年前にISO9001/2008を取得・更新して運用している。まず、現場にてヒアリングを実施し、企業診断を行った結果、JISQ9100認証取得により自社の強みをさらに強固にし、一步先を見据えた経営が目指せると考えられた。そこで、品質規格保証認証取得までのタイムスケジュールを明確にすることを第一課題とし、そのための社内体制等について確認をおこない、航空機産業分野で経験豊富な本専門家を選定し、解決にあたった。また支援後、関係機関主催の航空機産業参入セミナーに参加してもらうなど、フォローを行った。

専門家による具体的な支援内容

1回目の支援では、航空機産業参入についてのトレンド情報、JISQ9100認証取得にむけての資料を提供し、それぞれのテーマについて概説してJISQ9100取得の方向性を固めた。2回目、3回目では、既に保有されているISO9000品質マネジメントマニュアルにJIS Q 9100が要求する項目を追加した改訂原案をもとに、規格の要求をどのように満足させるかを明確にするようアドバイスした。また、認証機関の候補選定、認証までのスケジュールを作成し、最後に、JIS Q 9100認証取得の全体の整合性を確認して支援を完了した。

成果

航空機産業の品質保証規格「JIS Q 9100」認証取得に関するマニュアルの整備、社内体制の確立、認証までのスケジュールが立てられた。支援終了後に、認証機関との契約、内部監査、マネジメントレビューを行い、5月の本審査に向けて順調に進んでいる。また、専門家を通じて新たな取引先開拓として航空機産業大手企業への営業活動を開始した。



専門家プロフィール

氏名: 平岡 康一
保有資格: 技術士
専門分野: ものづくり
キャッチコピー: ロジックを重視する航空宇宙技術を応用して技術課題を解決します。



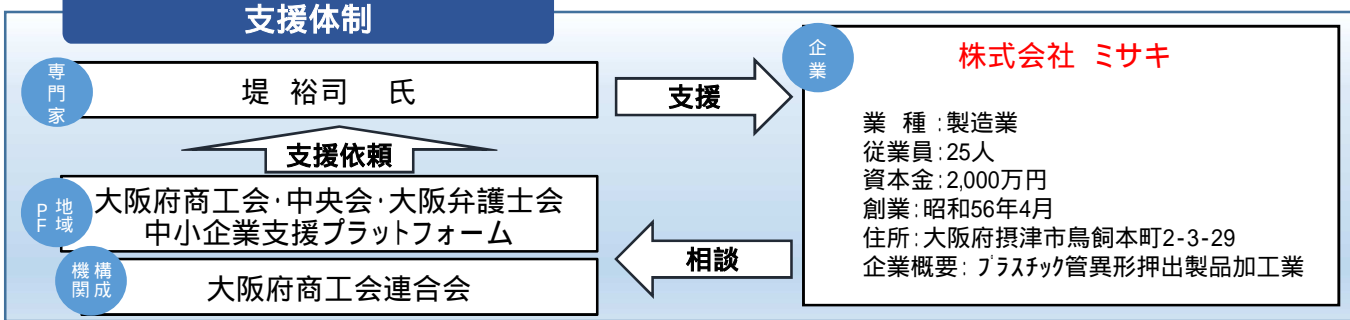
事業者の声

正直なところ、こんなに効果的な行政のサービスがあったということに驚くとともに本当に感謝しております。この専門家派遣と云うアクションが優れていることに加え担当窓口の方々の細やかなサービスと指導にあたられた平岡康一先生の熱心な指導にも恵まれたこと、それらすべてが弊社にとっての幸運だったと感じています。3回の専門家派遣が終了した後も平岡先生とはメールのやり取りをさせて頂き、大手航空機メーカーへ向けた営業活動のアドバイス等を頂いたりしております。この場を借りて今回、お世話頂きました平岡先生、瀬古様、声田様に厚く御礼申し上げます。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/003100000SOpvPAAT>

支援体制



支援概要

支援の経緯

本企業は、井戸・温泉・地質調査用集ストレナー管の加工等を行っている。ストレナー管のスリット幅0.3mmの作成依頼を受けたが、依頼された製品は国内ではまだ開発されていないものであった。そこで本企業は、取引先からの要請でもある高機能横スリット加工機を開発し、国内にはなかったストレナー管の開発に成功した。それに伴い、この開発した試作品の販路拡大と製造体制強化を図りたいと当拠点に相談があった。

派遣元機関による経営課題の特定とアプローチ

ヒアリングを行うと、開発していた高機能横スリット加工機での試作品は、マーケット自体は非常に大きく、他社製品との差別化を図ることができるものであった。しかし、現状の工場の設備環境では量産することが難しいことから、設備環境の改善が必要であり、新規機械導入に伴う資金調達や事業計画作成についての支援が必要である事が判明した。そのため、中小企業の事業計画作成や経営基盤強化において実績のある本専門家へ依頼した。

専門家による具体的な支援内容

長期事業計画、経営戦略を明確にして、計画達成のための行動計画書の作成や資金調達についてアドバイスした。具体的には、試作品開発スケジュールを策定し、社員教育等も含め、導入計画を立てるようアドバイスした。また、新たに高付加価値製品の製作に必要なオリジナル機械の製造と、受注増に向けた製造体制強化を実施していく計画を勧め、その事業計画書作成についてアドバイスした。そして、売上向上の方策として、国内で実施される工事等を対象とするために、国土交通省のイントラネット及びインターネットで運用されるデータベースシステム (NETIS新技術情報提供システム)の申請、登録を行うようアドバイスした。最後に、これらの事項を盛り込んだ事業計画書での金融機関からの融資による資金調達についてもアドバイスした。

成果

経営革新計画により資金調達に成功したことで製造体制の強化が可能となり、新たな商品提供から取引先増、売上げアップにつながった。また、具体的な行動計画を作成していったことにより、行動の検証ができ、今後の目標の達成度を高く設定することができた。また、次回以降の計画にも活かすことができるようになった。



専門家プロフィール

氏名: 堤 裕司
保有資格: 税理士
専門分野: 経営革新
キャッチコピー: 企業の「全体最適化」を目指します。



事業者の声

- ・キャッシュフローの把握により財務の健全化を図ることができ、投資と融資のタイミングが把握できるようになった。
- ・経営革新申請書作成により事業計画策定の重要性を認識した。また、承認されたことにより低金利での資金調達が可能となった。
- ・開発機械を活用し国内で製造されていなかった高付加価値商品の提供により、新たな取引先、新分野進出が叶い、売上が1.5倍となりコスト削減も図れた事で利益率向上となった。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/003100000RxdSAAR>